


整理No.2018-20		労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2017年 9月 8日(金) 11時 20分 天候(雨上がり) 温度( °C)湿度( %)			
災害区分		不休災害 <u>休業災害</u> (休業:129日)			
被災者	部門	間接部門		雇用形態 正社員、派遣、契約 <u>その他</u> (リワーク)	
	年齢	62歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数 37年4ヶ月	経験年数 37年4ヶ月
	傷病名	破裂骨折			
	傷病部位	第一腰椎			
災害発生状況	①被災者は自分の居室から構内協力会社の事務所へ自転車に乗って移動中、メガネを忘れたことに気づき、居室に引き返していた。				
	②その際、少しでも居室の近くまで自転車で行きたいと思い、倉庫内の通路を走行した。				
	③居室前で停車しようとブレーキを掛けた時、車輪が滑ったので、足を着こうとしたが、上手く足を着くことが出来ず、バランスを崩し、でん部から落下した。				
	④尻餅をついた衝撃で動けなくなり、うずくまっているところを他の社員に発見された。				
	⑤腰部に強い痛みがあったので、病院で受診したところ、そのまま入院・加療となった。				
災害の型 <sup>※1)</sup> :2 転倒		作業の形態:定常 <u>非定常</u> 、その他( )			
起因物: 自転車		特記事項 特になし			
原因分類	1.人的要因(man):近道行動、KY不足				
	2.物に関する要因(machine):特に無し				
	3.環境要因(media):路面の滑り易さ、自転車のブレーキの効き具合				
	4.管理的要因(management):当該通路での自転車の走行ルール無し				
対策	① 建屋内の自転車走行禁止について事業所内全部門に周知・徹底				
	② 不要・不急時の自転車の利用禁止を全部門に周知・徹底				
	③ 構内で自転車を利用する場合は3輪車タイプを優先利用するよう周知				
対策分類 <sup>※2)</sup> :1-2 災害・事故の想定と対応、1-5 変更管理、2-4 危険認識					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)